



Nittaku News 2018.3

- カラー大会報道 平成29年度全日本選手権大会 [12]
- カラートピックス 海外情報(アジアユースパラ大会、U.S.オープン) [24]
- 全日本選手権大会を振り返る 星野一朗(JTIA専務理事) [28]
- 優勝インタビュー 平成29年度全日本選手権大会(男女单、男女団、団体) [30]
- 大会報道 平成29年度全日本選手権大会記録 [38]
- 大会報道 平成29年度第21回関東高校新人大会 [48]
- 日本の肖像 遠道英彦(富士宮やきそば学会会長) [52]
- 「私の指導論」 萩田浩二(堂工大附属中学校監督) [54]
- 練習のヒント 織部重治(ITS三重代表) [56]
- トレーニングFF 田中礼人(男子NT兼任コーチ) [58]
- 練習法公開 名門クラブに聞いた 教材協力:石田卓球クラブ(福岡県) [60]
- ラージボールテクニック 游本武司(東京芸術院)・内田康裕(大阪芸術院) [62]
- プレミアムインタビュー 田中礼人(JTIA男子ナショナルチーム兼任S&Cコーチ) [72]
- カラートピックス 全日本選手権大会ニッタク契約選手の活躍 [74]
- カラー大会報道 平成29年度第21回関東高校新人大会 [82]
- ラージを愛する人たち 長板亘通(愛知県) [88]

第5チャンネル [64]
ピンポン東西南北 [66]
各地レポート [66]

みんなのコーナー [72]
編集室 [72]
ニッタク講習会 [86]

Message

生きていけば必ず辛いことに出会うことがある。しかし生きているからこそ、嬉しいこと、幸せなことに出会うことができる。

ある情報番組で、人間は亡くなってしまうより、記憶から消えてしまつた方が悲しい、とコメントされていた。その通りだと感じる。

全日本選手権が終わり、数々の新しい記録が生まれた。優勝者は記録に残るが、2位以下は記録に残りにくく、いずれ忘れられてしまうだろう。また、卓球ファンなら興奮してしまうような名試合、トップ選手の手に汗握る攻防も、誌面などでは伝えにくいものがあ

り、いずれその試合のことも忘れられてしまうことは悲しいことである。

成功をおさめてきた人が、ある時から急に腕子を落とし、なかなか結果を出せなくなってしまう時がある。自信というものは不思議なもので、何かが出来たときに得られるものであるけれど、時に何かを成し遂げる時に必要なものである。自分を信じることが、方に変わる瞬間というのは、決して少なくない。

自信を取り戻すためには「結果」が必要である。自分の信じた道を進むことが大切で、自分を高めることができるのが秘訣である。
【高】



表紙
平成29年度全日本選手権
史上最多の3冠
伊藤美誠(スタート)
写真: 遠道英彦